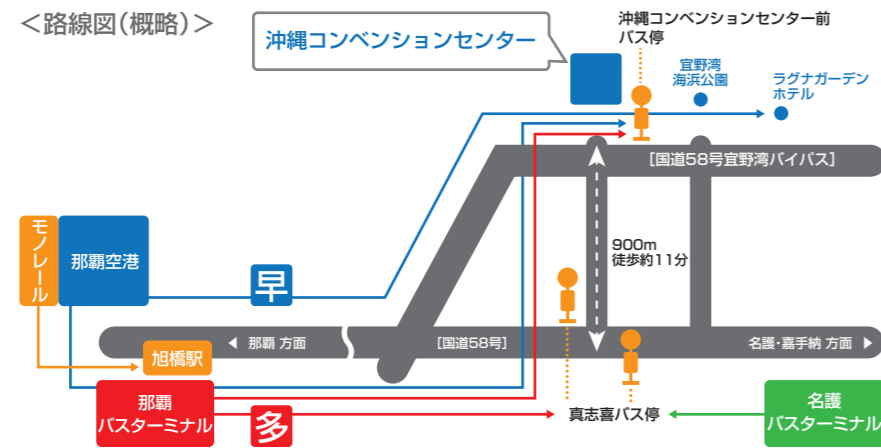


大会会場のご案内

沖縄コンベンションセンター
沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1

<路線図(概略)>



※バス車両に表示されている系統番号を選んでご利用下さい。

●那覇バスターミナルから

沖縄コンベンションセンター前バス停まで約40～60分

系統番号 26番・28番の一部・32番・55番・112番・99番

多 真志喜バス停まで約40～45分

系統番号 20番・77番・120番(国際通り経由)、23番・28番・29番・63番(久茂地経由)、31番(久茂地経由)

●那覇空港から

空港3番乗り場から那覇バスターミナル経由沖縄コンベンションセンター前バス停まで約50～70分

系統番号 26番・99番

早 空港から便利な「空港リムジンバス」空港12番乗り場からラグナガーデンホテルまで約55分

※沖縄コンベンションセンター前には止まりません。ラグナガーデンホテルから沖縄コンベンションセンターまで徒歩 約10分

●名護バスターミナルから

名護バスターミナルから真志喜バス停まで約120分

系統番号 20番・120番

(注) 1. 所要時間は交通事情により大きく異なることがあります。
2. 土日祝日は便数が少なく運行されます。

第67回中小企業団体全国大会

全国中小企業団体中央会
<http://www.chuokai.or.jp/>

〒104-0033 東京都中央区新川1-26-19 全中・全味ビル
TEL.03-3523-4901 FAX.03-3523-4909

中小企業団体 全国大会



団結は力 見せよう組合の底力!
～組合でひろがる中小企業の発展～



日時 平成27年11月20日(金)
午後1時～4時30分

会場 沖縄コンベンションセンター

主催：全国中小企業団体中央会
沖縄県中小企業団体中央会

団結は力 見せよう組合の底力!

～組合でひろがる中小企業の発展～

第67回中小企業団体全国大会開催要綱

1 大会の目的

わが国経済は、アベノミクスの経済政策効果により長く続いたデフレ経済脱却の局面を迎え、緩やかな景気回復傾向が続いている。しかしながら、多くの中小企業者は、依然として景気回復を実感できない状況にある。

こうした中、地域経済を担い、地域の雇用と暮らしを支える中小企業者が、未来に希望を持って確実な将来展望を切り拓いていけるようにすることこそが喫緊の課題となっている。

中小企業団体全国大会は、中小企業者自らが組織する全国約3万組合等が有する差し迫った意見を総意としてとりまとめ、これを内外に広く表明するとともに、中小企業者による中小企業者の持続的発展のための組織である組合等をはじめとする連携組織の発展に向けた不断の努力を決意することにより中小企業の振興施策の強化、安定した中小企業の成長と豊かな地域社会の実現を図ることを目的とする。

第67回中小企業団体全国大会は、組合制度の原点である“相互扶助の精神”のもと、中小企業者同士が団結の力を再確認し現下の難局を乗り切るとともに、自らの発展の可能性を信じて次のテーマを掲げ開催する。

団結は力 見せよう組合の底力!

～組合でひろがる中小企業の発展～

2 主催

全国中小企業団体中央会
沖縄県中小企業団体中央会

3 大会参加料

1人 6,000円

4 期日及び場所

日 時 平成27年11月20日(金)午後1時～4時30分

場 所 沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1)

参加者 約 3,000名

来 賓 関係大臣、政党代表、中央関係機関の長、県内関係機関の長

大会内容 【第一部】

表彰式(優良組合・組合功労者・中央会優秀専従者)

【第二部】

祝辞

議事(議案審議・意見発表・決議)

大会宣言

5 後援及び協賛(予定)

■ 後 援

経済産業省、農林水産省、厚生労働省、国土交通省、総務省、中小企業庁、内閣府沖縄総合事務局、沖縄労働局、沖縄県、那覇市、宜野湾市、沖縄県市長会、沖縄県町村会、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県商工会連合会、(一社)沖縄県経営者協会、(公社)沖縄県工業連合会、九州中小企業団体中央会連合会

■ 協 賛

(株)商工組合中央金庫、(株)日本政策金融公庫、(独)中小企業基盤整備機構、(独)勤労者退職金共済機構、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、(公財)全国中小企業取引振興協会、(一社)全国信用保証協会連合会、(有)エヌ・エス・エイサービス、沖縄振興開発金融公庫、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県信用保証協会、(公財)沖縄県産業振興公社、(一社)沖縄県銀行協会、(株)琉球銀行、(株)沖縄銀行、(株)沖縄海邦銀行、コザ信用金庫、(株)琉球新報社、(株)沖縄タイムス社、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送(株)、琉球放送(株)、琉球朝日放送(株)、(株)FM沖縄、(株)ラジオ沖縄、沖縄電力(株)